



株式会社 姫路環境開発

事業所

本社	〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17
本社リサイクルセンター	TEL079-233-3353 FAX079-233-6262
木くずリサイクルセンター	〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島相生梅2104
がれきリサイクルセンター	〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-16
資源リサイクルセンター	〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-24
収運事務所(配車センター)	〒672-8035 兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3059-6
大津工場	〒671-1132 兵庫県姫路市大津区勘兵衛町2丁目89-1
真砂工場	〒671-1136 兵庫県姫路市大津区恵美酒町2丁目104



株式会社HIMEKANホールディングス

〒670-0964 兵庫県姫路市豊沢町135番地11階

SNSで
ひめかんの
最新情報を
配信!



himejikankyo.co.jp/

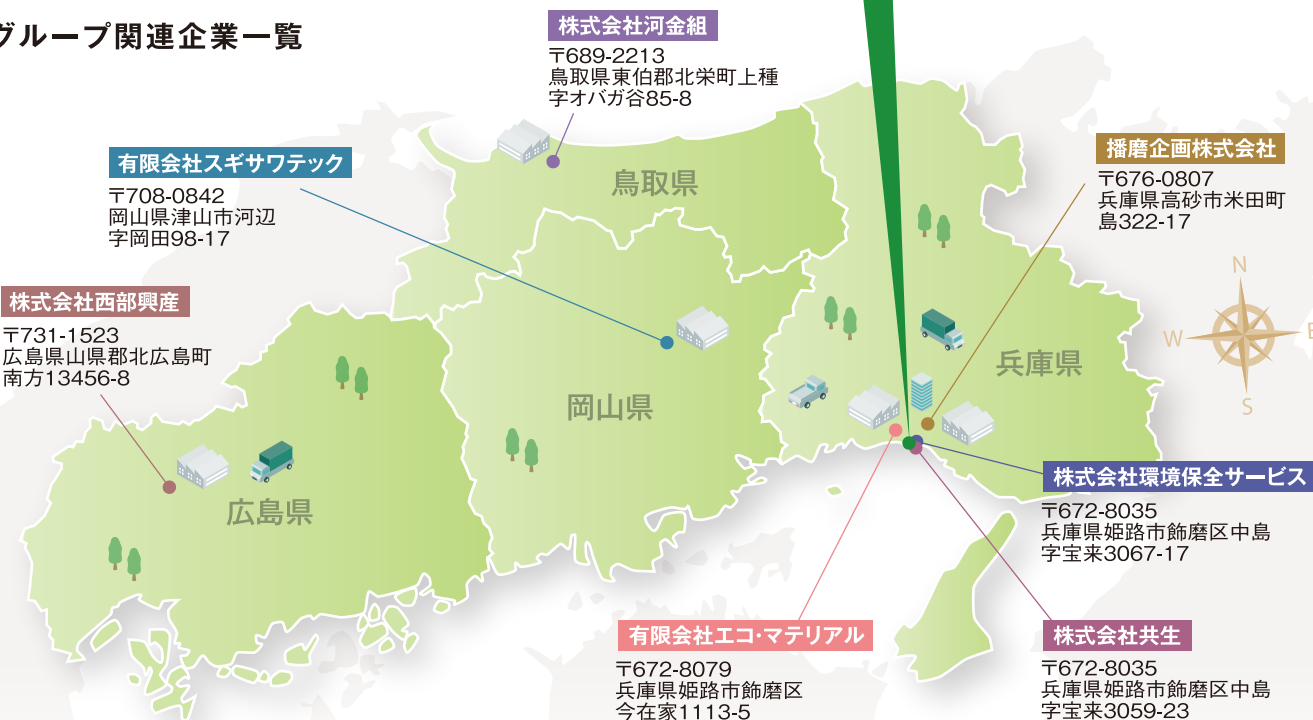


@himekan_group



@himekan.group

グループ関連企業一覧



お問い合わせはコチラ

収集運搬、配車予約に関するご用件

Tel.079-233-3131

ご契約、お支払いに関するご用件

Tel.079-233-3353



この製品は、FSC®認証材、再生資源、およびその他の管理原材料から作られています。



姫路環境開発公式キャラクター
ひめかんスマイルくん



CSRレポート 向上のためのアンケート!

約3分でできる
超簡単なアンケートに答えて、
ボクのオリジナルQUOカード
をゲットしてね!



企画・編集

株式会社姫路環境開発
総務部 CSRレポート委員会
〒672-8035
兵庫県姫路市飾磨区中島字宝来3067-17
Tel:079-233-3353 / Fax:079-233-6262
2024年3月発行

CSR REPORT

Corporate
Social
Responsibility

2023

Earth is us.



株式会社 姫路環境開発
HIMEKAN GROUP

ヒーローたちが
創り出す
持続的な未来

Sustainable
future created
by heroes.

CSR REPORT 2023

目次

会社概要

- 02 目次
- 03 経営理念・社訓
- 04 代表メッセージ
37期の振り返り
姫路環境開発の目指す姿「いい会社」
38期テーマ
- 06 沿革
組織図
環境方針
ISO14001 環境マネジメントシステム
サプライチェーン全体のCO₂排出量
- 08 産業廃棄物収集運搬処理事業
お客様からの信頼の秘訣
音声ガイダンス導入
アルコールチェック実施
優良認定 32件
収集運搬容器・収集運搬車両・搬出専用車両
- 10 リサイクル事業
お客様からの信頼の秘訣
エコレンガ事業
リサイクル率/量
リサイクルの流れ
- 12 解体事業
お客様からの信頼の秘訣
施工件数
施工実績

「いい会社」に向けた取り組み

- 14 社員ヨシ!
人を育てる
本を読む習慣を! 木鶏会
D.M.P研修 研修で学んだことを会社で発揮!
フードドライブセミナー
- 16 感謝と尊重の文化
広がる笑顔の輪! スマイルカード
お互いに称える文化! グリーンカード
- 17 部門を超えた交流
HIMEKAN GROUP 37期 社員総会
4年ぶりの開催!! 北海道社員旅行
令和5年度忘年会・ゴルフ同好会
ダンス同好会・従業員をつなぐ社内報
一言コメント
- 18 働きやすい会社へ
多種多様な働き方の実現! 姫路オフィス誕生
いこいの空間・感謝品・女性用制服新調
ワークライフバランスの推進! 産休・育休制度
- 19 お客様ヨシ!
総務部・経理部・営業部・工事部
環境事業部・収運部
- 22 地域ヨシ!
環境学習
地域の中高生と海のごみ調査隊
地域の子供たちとおもいも掘り
緑化事業 姫路城に華を添える花の寄せ植え
- 23 地域美化
明石公園GOMI拾い合戦・広域清掃
イベント
第28回 花とレンガのエコフェスタ
- 24 寄付活動
寄付活動の継続・フードドライブ
ペットボトルキャップ回収
地域のコミュニティ食堂へさつまいを寄付
- 25 社員の意識向上
家庭リサイクル・ごみの分別・グリーン購入

37期テーマに沿った実績報告

- 26 1.安全と安心の追求
安全
災害対応と事業継続
安全第一些事を怠るな
安心
健康経営推進
危機対応別のリスク管理
ひめかんホットライン設置
インボイス適正発行
お客様が、よりお持ち込みしやすい窓口へ
- 28 2.みんなでチャレンジ
DX推進秘話
～開発者と実務者みんなで完成させるために～
- 29 3.魅力発信
インターンシップ
リクルート動画リニューアル
1day仕事体験
勉強会
リーダーセミナー
排出事業者様の工場見学
- 30 社員紹介
・1年目から輝く真摯な姿勢
・アスベストのスペシャリスト
・車輝く、作業のプロ
・若手努力家の成長者
- 31 映画
ひめかんヒーローズ2
制作秘話
ひめかんCM14年間放映中

持続的な未来は みんなのつながりから 生まれる

姫路環境開発は、これまでの軌跡を振り返りつつ、新たな未来を築くために挑戦し続けています。その歩みにおいて、一人ひとりが重要であり、一つの部門も欠けてはなりません。共に働いてくれる仲間がいるおかげで、お客様に貢献でき、地域社会とのつながりが一層深まります。今、未来に向けて挑戦できているのは、多くの方々の協力があるおかげです。社内や地域社会との「横のつながり」、過去から現在そして未来へと続く「縦のつながり」に感謝を込めて、2023年の軌跡をここに刻みます。

経営理念

安心・安全・適正な総合リサイクルセンターを目指し、社員全員が参加し、自らが学習し、価値観の共有化ができる組織。
限らない資源を生み出す企業として、時代に合った顧客のニーズに対応するためのシステム。
人材育成が企業を育て、社員が満足して仕事のできるシステム。廃棄物を通じて、社会に必要とされる企業を創る。

社訓

安全 安全第一些事を怠るな
正直 自分に正直に生きよ
誠実 他人に誠実に応えよ
謙虚 何事にも謙虚に振る舞え

代表メッセージ

この度、CSRレポート2023を発行するにあたり、ステークホルダーの方々には、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。今回のCSRレポートは「つながり」を意識して作成いたしました。ご覧いただいた皆さまに少しでも姫路環境開発を知っていただければ幸いに存じます。

私が現在、経営において強く意識している考えの一つが「自主管理」です。仕事では各社員が役割を全うし、主体的に行動することが求められます。会社の信条である「社訓と理念」は、迷った時の判断基準となり、「転ばぬ先の杖」として機能します。したがって、「自主管理」を実践する上で、これらの考えを徹底的に理解しておく必要があります。自主管理できる組織は、現場での判断能力が向上し、スピードと決断力が要求される状況でも安定した対応が可能となります。さらに、社員一人ひとりが強い意志を持ち、一体感を持ちながら協力することで、安全で快適な職場を築くことができます。

快適な職場環境に必要な要素の一つは、風通しのいい社風が日常にある会社です。いい雰囲気の中で働くことで相互の信頼が生まれ、気軽に相談し合える環境が育まれます。実現に向けて、まずは私自身が模範となって積極的にコミュニケーションをとり、お互いをリスペクトする文化を醸成することが重要だと考えています。経営環境が厳しい中でも未来につなぐ「いい会社」を志す仲間と共に、諦めずに前進することが私の使命です。

代表取締役 梅崎 晃平

37期の振り返り

Looking back at the 37th term

2023年、3つのテーマについて社員に取り組んでいただきました。



1 安全と安心の追求

労働災害ゼロを目指し、無災害継続80万時間を達成することができました。安全衛生委員会のご協力により一人ひとりの意識が高まったことを実感しました。

2 みんなでチャレンジ

各部署が、易い総務部、まぶしい経理部、まかせて安心 チャレンジ営業部、まかせて安心 工事部、キレイな工場、魅せるセールスドライバーとテーマを掲げ、部門全員で協力して取り組みました。また、DXE導入、クラウドシステムへの移行作業、レジリエンス更新、各自の個人目標などたくさんのチャレンジを行いました。

3 魅力発信

広報チームが中心となり、HIMEKANグループの魅力をたっぷりと発信しました。中でも社内報は社員に大好評で素晴らしい出来栄でした。

姫路環境開発の
目指す姿「いい会社」

姫路環境開発の中心に掲げるのは、「いい会社」の創造です。

私たちは「HIMEKAN」三方よし!の精神で、社員よし、お客様よし、地域よしの三方向から「いい会社」を実現します。

社員には満足いく働きやすい環境を提供し、お客様には信頼されるサービスを、そして地域には不可欠な存在として貢献し続けます。この三方よしは社員ファーストの考えから生まれています。社員が愛着を持ち、会社に誇りを感じることが重要で、良好な関係が「つながり」を築きます。共に共生し、必要とされる企業を目指し、課題に向き合いながら一歩ずつ前進していきます。

2050 カーボンニュートラル
を目指す!

使用済み紙おむつリサイクル事業、電気自動車導入検討、ひめかんの里プロジェクト。

2030 姫路環境開発は
資源循環企業を目指す!

高選別システム導入で資源リサイクルへの取り組み、グループ会社と共同でマテリアルリサイクルの研究、太陽光パネルリサイクル事業、リトレッドタイヤ普及拡大。

38期
テーマ 社員の
目指すテーマ Themes aimed
at by employees

1 安全は些事から

小さなケガをしない心がけ実践!

2 みんなで学ぶ

社内木鶏会を通じて
自分価値向上の実践!

3 ゴミは資源

処分から資源循環へのチャレンジ!



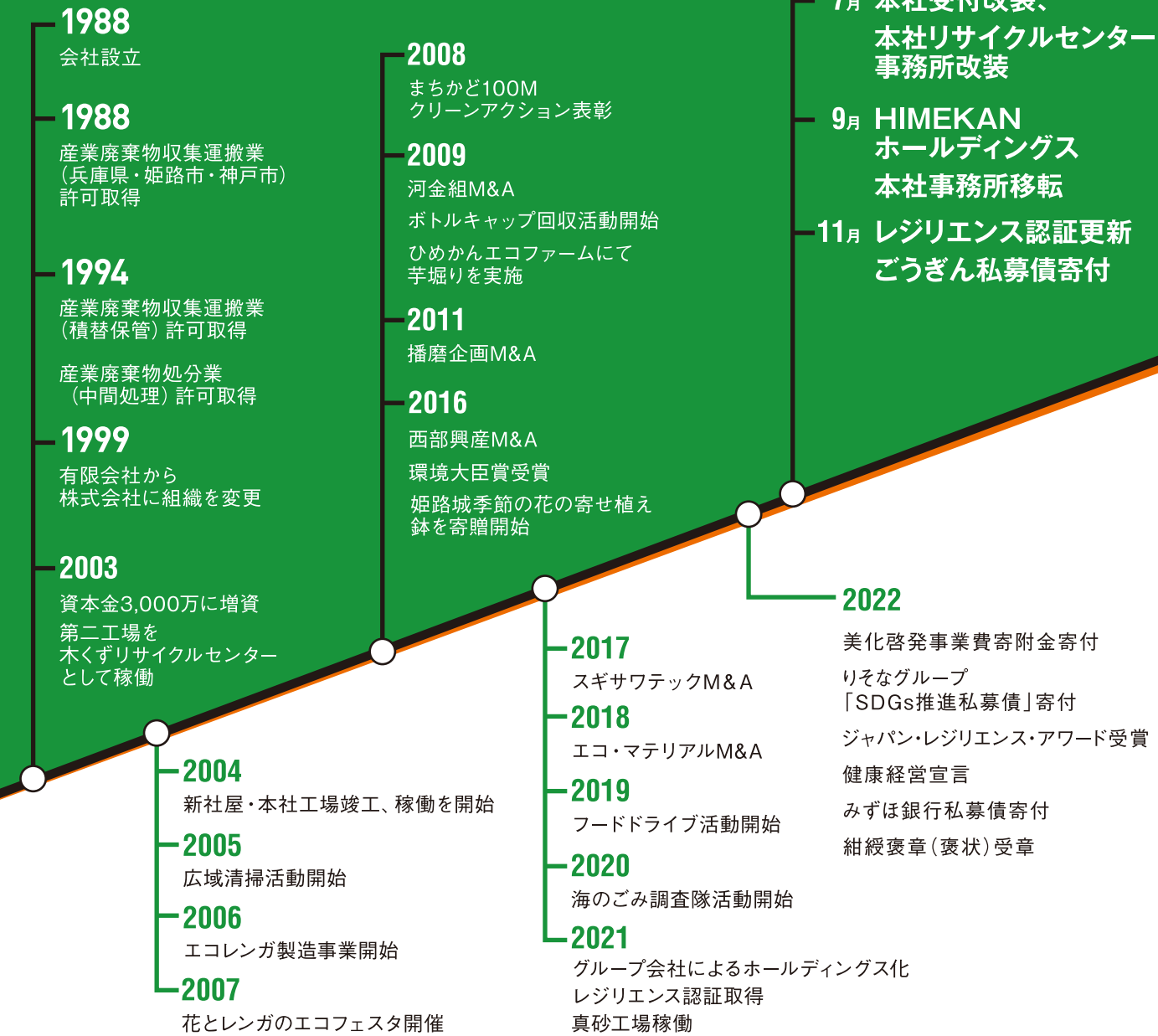
株式会社 姫路環境開発
代表取締役 梅崎 晃平

見方を変えれば全てがチャンス!
一人ひとりが主人公意識を持って
行動すれば必ず達成できる!



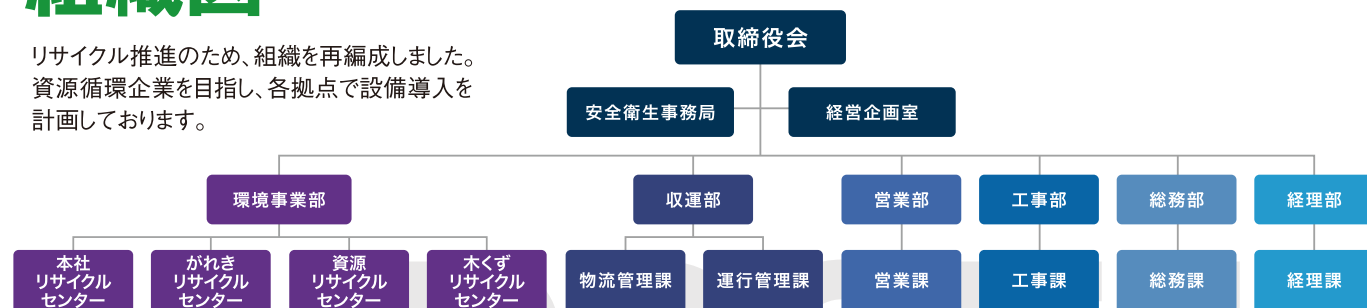
「いい会社」へ

沿革



組織図

リサイクル推進のため、組織を再編成しました。資源循環企業を目指し、各拠点で設備導入を計画しております。

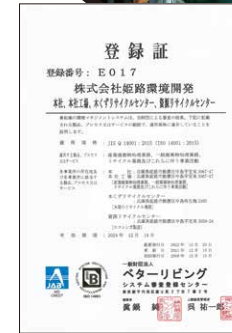


環境方針

経営層を筆頭に従業員が一丸となって、地球や自然環境を守るため、会社としてどのような方向に進むべきか定めた「環境方針」です。
当社が掲げるスローガン「地球環境へ限らない挑戦!」を進めるための、指標にもなっています。今後も環境と調和した持続可能な循環型社会を目指した取り組みを推進してまいります。

ISO14001 環境マネジメントシステム

環境への責任を強化するため、当社はISO14001に基づく環境マネジメントシステムを採用しています。このシステムにより、継続的な環境パフォーマンスの向上や環境リスクの管理が可能となり、CSRの一環として積極的に行動しています。今後もISO14001の枠組みを通じて、環境への取り組みを一層強化し、ステークホルダーと共に未来の持続可能な社会の構築に寄与してまいります。



ISO14001
認定取得

内部監査は、組織における「改善の機会」としてとても重要であるため、使命感を持って取り組んでいます。

- ・組織の環境方針が現状に適切であり、ISO14001の要求に沿っているか
- ・環境目標とターゲットが明確に設定され、達成のためのプランが立てられているか
- ・関連する環境法規制を把握し、遵守しているかなどをチェックする中で、どうすればもっと会社がよくなるかを考えながら進めています。



内部監査員
総務部 総務課 課長
三木 健太郎

SCOPE算出によるGHG排出量の観測と公表

サプライチェーン全体のCO₂排出量

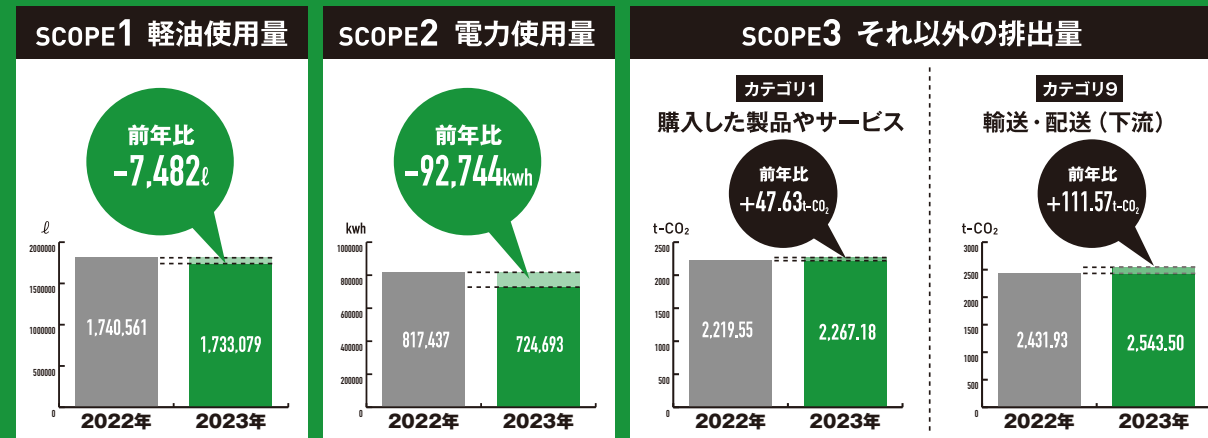
GHGは温室効果ガス、SCOPEとは、サプライチェーン全体のGHG排出量です。SCOPE1は燃料の使用による直接排出、2は電力使用による間接排出、3はそれ以外全てが対象です。今回はCO₂排出量を「組織の活動量×原単位」で算出しました。

この算出の目的は、全数把握ではなく、現状を把握して目標を立てることです。正しい目標設定のためには、共通の物差しで測ることが必要です。

2024年の目標

- ▷全ての事業に関する排出量算出および公表
- ▷SBTi認証の取得

2024年、排出量減少のご報告を目指して、脱炭素社会の実現に向けて取組んでまいります。



内訳を見ると、「車両」「設備」「運搬」関連が大半を占めています。業種の特性上、当然だと割り切ることは簡単です。しかし、我々はこのチャンスだと考えています。姫路環境開発は、レポートを活用して企業の非財務的価値を企業価値と同期化させていきます。

CO₂ 排出量 9,584t-CO₂ - CO₂ 削減量 24,553t-CO₂ = 2023年のCO₂削減量 -14,969t-CO₂

WORKS

産業廃棄物収集運搬処理事業

創業時から変わらぬ「断らない」姿勢
広い受け皿と正しい知識で、迅速な廃棄物処理をお約束します。

当社は産業廃棄物を安全かつ迅速に収集運搬し、適正な中間処理を行っております。
また、お客様からのすべてのご要望にお応えするため、58台の収集運搬車両と数千個のバッキン・コンテナを準備し、断らないをモットーに36年以上事業を継続しております。

お客様の信頼の秘訣

1



「断らない」がモットー

お客様からのご要望に対し真摯に向き合い対応させていただいております。
また、廃棄物収集運搬処理事業に必要な許可は関西圏を中心に18都府県で取得しており、広範囲に渡る収集運搬はもとより様々な種類の廃棄物に対応することが可能なため、おかげさまで現在約5,000社のお客様とお取引させていただいております。

2



安全・適正処理

産業廃棄物の中間処理事業は、コンプライアンスの徹底が必須です。
当社は、廃棄物処理法の改正を迅速にキャッチし即座に対応することで、常に適正な処理を行っています。

3



翌日配車

当社は、多くのお客様からご要望がある「翌日配車」を目指し、豊富な数のバッキン・コンテナと車両を準備し、ご要望にお応えできるよう努めています。

音声ガイダンス導入

6月の自動音声ガイダンス導入により、よりスムーズなお問い合わせが可能となりました。
今後もお客様の使いやすさ向上、そして迅速で正確な情報提供に努めます。



アルコールチェック実施

2020年より、アルコールチェッカーによる酒気帯び確認を実施しています。
法改正は12月からですが、当社はそれ以前から出勤時と退勤時にアルコール検知を行い、結果の記録を1年間保存するなど、法令を遵守しております。



優良産廃処理業者認定制度

優良認定 **32件**

産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業

13件

近畿地方

9件

中国地方

2件

関東地方

7件

その他地域

産業廃棄物処分業許可証

姫路市

姫路環境開発の
廃棄物処理エリア
許可証一覧はこちら▶



当社は32件すべての許可において、優良認定を取得しています。
優良認定業者は、優良産廃処理業者認定制度において、通常より厳格な許可基準に合格し、都道府県・政令市によって認定された企業です。
高い技術力と適切な廃棄物処理の実績を証明しており、お取引において安全かつ安心できるパートナーとして選ばれています。



優良産廃処理業者認定制度とは

優良産廃処理業者認定制度とは、通常の許可基準より厳しい基準に適合した優良な産廃処理業者を都道府県・政令都市が審査し認定する制度です。

優良許可基準

- ① 遵法性
 - ② 事業の透明性
 - ③ 環境配慮の取り組み
 - ④ 電子マニフェスト
 - ⑤ 財務体質の健全性
- ※詳しくは環境省のHPでご確認ください。

収集運搬容器

舟型バッキン



奥行 :2,000mm
幅 :1,500mm
高さ :1,100mm
重さ :380kg
容積 :3m³

中型コンテナ



奥行 :3,600mm
幅 :1,900mm
高さ :1,000mm
重さ :1,000kg
容積 :7m³

大型コンテナ



奥行 :5,900mm
幅 :2,300mm
高さ :1,800mm
重さ :3,000kg
容積 :25m³

分別カート



奥行 :1,130mm
幅 :1,130mm
高さ :1,100mm
重さ :250kg
容積 :1m³

低炭素型ディーゼルトラックを導入し、
環境への配慮と安全性を追求とサービス向上に努めます。

低炭素型ディーゼルトラック**48台**、車両合計**58台**

収集運搬車両

ユニック車

・3tショート 2台
・3tロング 5台

・4tロング 7台
・6t 4台
・8t 3台



コンテナ車

・4t 5台
・6t 5台
・8t 3台
・10t 4台



ツカミ車

・8t 1台
・10t 1台



ダンプ車

・3t 4台
・10t 8台



ダンパー車

・4t 1台



搬出専用車両

セミトレーラー

・23t 1台



フルトレーラー

・17t 1台



深ダンプ車

・10t 3台



WORKS

リサイクル事業

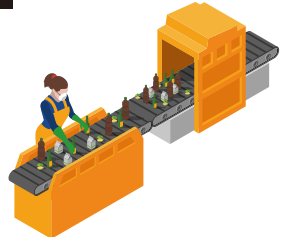
当社はリサイクルを通して、持続可能な社会をつくるための追求を行っております。産業廃棄物の中間処理工程において、徹底した選別を行い、再資源化を図っております。

今後も地球環境への負担を再資源化することで軽減させ、美しい地球を次世代につなげていきます。

混ぜれば『ゴミ』
徹底した選別と自社での再資源化により、持続可能な社会へ
分ければ『資源』

お客様の信頼の秘訣

1



高い品質

廃棄物のリサイクルにおいて高い品質を保つには、正確な選別が必要です。そのため、機械選別と手選別を組み合わせ、品質悪化の要因となる物質を取り除くことで、品質の維持・向上を実現しています。

2



安定した需要と供給

需要予測や在庫管理を通じて、需要と供給のバランスを保っております。当社はお客様に安定した出荷量を確保しております。安定した出荷量を確保することにより、お客様も安定した工場受入が可能になります。需要と供給、共に良い関係を築いています。

3



徹底した安全管理

工場内での設備点検を定期的に行い、安全性を確保しています。さらに、工場内全ての作業において作業手順書を作成し、従業員全員がいつでも確認できるようLINEWORKS上にアップしています。これにより、従業員は安全な作業手順を理解し、遵守することが当たり前となっています。

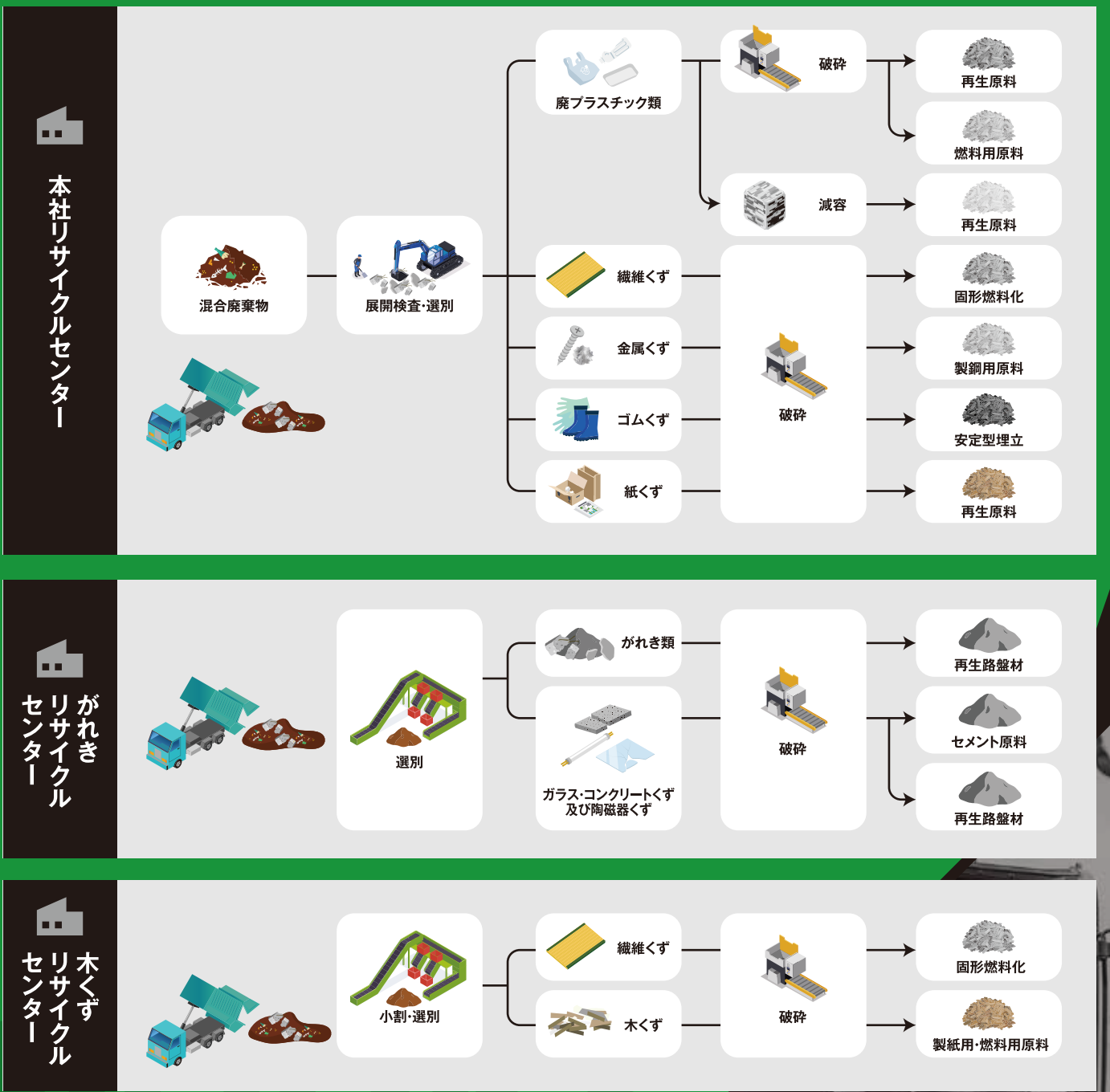
エコレンガ事業

無焼成・無廃棄・無排水でつくられるエコレンガ（アーザンブリックス）を製造する事業に取り組んでおりましたが、将来展望の再検討に伴い、5月末日をもってエコレンガ事業を終了いたしました。お取引いただいたお客様、関係者の皆さまに心よりお詫び申し上げます。今後はまた違う形でより環境に配慮した取り組みを進めてまいります。何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

リサイクル率/量



リサイクルの流れ



WORKS

解体事業

未来を創る解体工事

一つ一つ丁寧な仕事でお客様に寄り添います

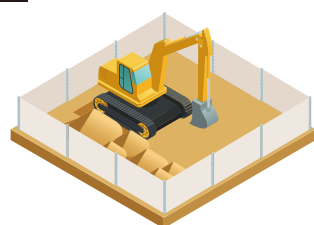
高度経済成長期の建物が約50年経過し老朽化しており、今後の解体工事案件が増加。

また少子高齢化や人口減少が問題となり、2030年には空き家率が約30%になるとも予想されており、空き家対策として解体工事依頼が増加する見込みです。

今後は解体業界の需要が高まると予想されます。当社も工事部として解体工事を日々行っております。

お客様からの信頼の秘訣

1



安全かつ迅速丁寧な解体工事

振動・防音対策や近隣挨拶など近隣住民への配慮はもちろん、常に安全第一を考え、無事故・無災害で施工計画通り一つ一つ丁寧に現場管理を行っております。

解体工事を請け負ったお客様からはリピート依頼を多くいただき、信頼ある解体工事を行っております。

2



ワンストップサービス

解体工事から廃棄物処理まで一貫してサポートしています。今まで面倒だった解体・運搬・処分それぞれに依頼・契約・支払いと複雑なケースが無くなり、当社のみで完結できます。また協力会社との緊密な連携により、効率的かつ安全安心な解体工事と廃棄物処理を実現しています。

3



アスベスト処理にも対応

当社は、健康リスクのあるアスベスト（石綿）の撤去処理を行っております。アスベスト撤去処理には事前調査から届出書、作業レベルに対しての厳格な法律や規制が存在するため、法規制に適合する専門的な知識やスキル、安全な処理手順が必要です。当社ではコンプライアンスを重視し、安全安心なアスベストの適正処理を行っております。

施工件数

2022年
54件2023年
59件アスベスト
処理実績
約6,000㎡

施工実績

複合建物（鉄骨・コンクリートブロック・木造）3階建て

隣の建物と連結している場合でも、迅速かつ柔軟に対応させていただきます。

BEFORE



AFTER



木造瓦葺き2階建て（一部鉄筋コンクリート造の車庫と一体化）

建物の底が上がり、機械を用いた工事が難しい場合も対応いたします。

BEFORE



AFTER



いい会社に向けて 社員ヨシ!

人を育てる

本を読む習慣を! 木鶏会



本を読む習慣をつけるために始めました社内木鶏会。
初回は係長以上対象で開催いたしました。
読書を通じて人間的な成長を図っていきます。

人間学を学ぶ月刊誌「致知」を活用した社内研修、木鶏会(もっけいかい)は、致知を読むことを通じて、心を磨き、経営理念を行動に移すこと、美点凝視と素心の精神で、仲間との絆を深め、最高のチームにすることを目的としています。
初回の木鶏会キックオフを通じて、皆さまの誠実溢れるエネルギーの大きさを、感動で胸が熱くなりました。ご縁をいただいたこと、心から嬉しく思います。今後ともよろしくお願いいたします。

株式会社致知出版社 致知営業部 課長 仙田 貴也 氏



D.M.P.研修(人材育成研修)講師 日高様より

弊社は、「会社の軸経営(自社の存在意義を明確にし、社員と共にいかに社会に貢献するかを定め、それを経営の軸として実践する経営)」を主張しています。その一環として、弊社のD.M.P.研修では、「状況の原則(変化対応力の原則)」のテーマで、「自己の役割を果たす責任感」と「敏感な情報感度(変化を感じる力)」を磨くと共に、最も重要な事は、その変化に対応する為に「社長と使命を共感することである」と伝えています。

姫路環境開発さんの場合は、創業数年後に制定した「社訓：安全・正直・誠実・謙虚」を会社の軸として経営することが「社長の使命」です。その結果業界の荒波の中を生き残り・発展してきた歴史があります。

だからこそ、研修では、社員一人ひとりが社長と使命を共感し、社訓を判断基準・行動基準として、価値観のベクトルを揃え強い組織的活動をしなければならないと主張しているのです。



株式会社ディー・エム・ピー
代表取締役

日高 安則 氏

D.M.P.研修

研修で学んだことを会社で発揮!

当社は「人材育成が企業を育てる」を経営理念に掲げています。D.M.P.研修は創業当時から実施しており、人と人のつながりを大切にする社員育成において重要な機会となっています。

基礎講座受講

収運部 物流管理課 松尾 元気

研修を受けたことによって忙しい時こそ落ち着いて、焦らず的確な判断ができるようになりました。
そのため仕事に急な変更があっても、一度落ち着き冷静に行動できるようになりました。



基礎講座、経営者訓練基礎講座受講

環境事業部 本社リサイクルセンター 副センター長 中島 健吉

初めて参加させていただいたのは23歳の頃で、社会とはなんなのか全く分からない状態で勉強させていただきました。組織の流れや会社が発展する為には自分が変われば会社が変わる事を教わりました。二度目は幹部として道筋を示し会社の進む方向へ課員が進めるようにする事が大切だと学びました。日頃の感謝を忘れず仕事に取り組んでまいります。



基礎講座、経営者訓練基礎講座受講

環境事業部 がれきりサイクルセンター 副センター長 岩本 龍一

研修期間中、「我、今何をなすべきか?」を学び、仕事でも常々先を考えて無理無駄ムラが無いように行動するようになりました。姫路環境開発のさらなる発展に尽力してまいります。

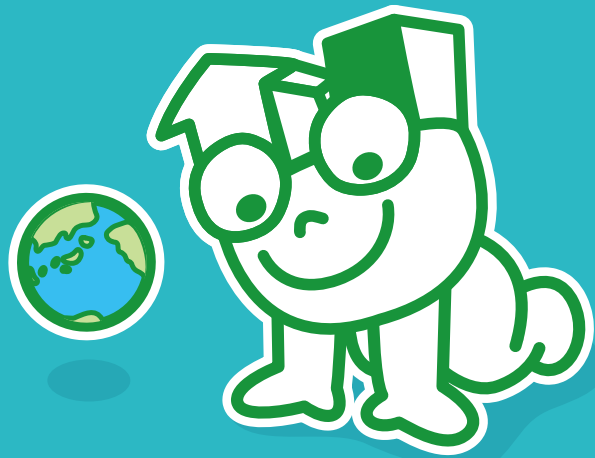


フードドライブセミナー

毎年4月、NPO法人フードバンクはりまの辻本様によるフードドライブに関するセミナーを受講しています。セミナーでは、社会情勢とともに、ご自身の生い立ちも紹介されています。このセミナーを通じて、社会貢献活動であるフードドライブへの参加意識を高め、当社のCSR活動に対する共通の理解を深めています。



感謝と尊重 の文化



広がる笑顔の輪! スマイルカード

周りの社員、お客様、地域の方々を笑顔にした人や、笑顔が素敵なお客さんに贈られるピンクのカードを指します。カードの裏には普段面と向かって言えないような感謝の言葉が綴られており、そのカードと共に笑顔の写真をLINEWORKS掲示板(姫路環境開発コミュニケーションツール)にて共有された際には多くの賞賛コメントが集まっています。2023年は合計73人が受賞しました。

今後も推薦者、受賞者ともに心あたたまる笑顔文化を広げ、『笑顔溢れるいい会社』を目指します。



受賞者へのメッセージ

誰にでも分け隔てのない対応や声掛けをしてくださり、周りを勇気づける言葉にいつも元気を貰っています。接点がありません人にも声をかけ笑顔で気さくに話されていることや、他部署にも関心を寄せて情報を取り入れていることが素晴らしいです。



2023年
受賞者
3人

お互いに称える文化! グリーンカード

「称賛」に焦点を置き「いい行い」をした人に発行される緑色のカードです。2023年は、見本となる電話応対をした社員や部署の業務以外においても貢献した人に贈られました。社員が笑顔で働ける「魅力あるいい会社づくり」を目的とし、社員満足の向上、顧客満足の実現、地域社会への貢献を目指します。

受賞者へのメッセージ

総務課Nさんは、周りの意見に耳を傾け、考えを尊重し、共感を示すことで、信頼関係を築いています。優れた人間性とコミュニケーション能力は、当社の目標である「いい会社」の協力と協調の基盤となっています。

社員たちに対する真摯な姿勢は、全社員を励まし成長させてくれます。今後も信頼を寄せる存在としてよろしくお願いします。心から感謝を込めて。

4年ぶりの開催!! 北海道社員旅行

2年に1度、夏に開催されており、今年は北海道の登別市と札幌市へ行きました。4年ぶりの開催となり初参加の社員も多く見られ、非常に盛り上がりました。

イベントでは心と体を癒すだけでなく、部署の垣根を超えて交流できることも大きな魅力となっています。



令和5年度忘年会

忘年会では、楽しみながら社員同士のコミュニケーションを深めています。今年はダンス同好会によるダンスや、幹事による弾き語り、お笑い、くじ引き等、ユニークなプログラムが多くありました。社員たちは笑顔に包まれながら、部署を超えた交流が促進される機会となりました。



ゴルフ同好会

HKゴルフ同好会では年4回のHKゴルフコンペが開催されています。現在で第48回にまでなりました。次回から会長・副会長が交代する事となり、新体制で継続していきます。

合言葉も『素振りは1回ホイサッサ!ライン読むなら空気読め!!』を継続して、楽しくゴルフをする事をモットーに活動しています。



ダンス同好会

HKダンス同好会は、仲良く楽しみながら活動しています。2023年は忘年会でのお披露目が集大成となりました。練習回数は限られていましたが、皆で配置や振付を教え合いながら上達したことで、本番では大きな盛り上がりを見せました。



従業員をつなぐ社内報

社内情報の透明性を向上させ、社内コミュニケーションを促進するために、毎月発行しています。画像や文章量を調節し読みやすさを重視すると共に、コンテンツや魅せ方の工夫により「読みたくなる社内報」を作成しました。今後も分かりやすく社内の取り組みを発信し、部門を超えて従業員同士がつながる発行物となるよう努めます。



オリジナル社内コミュニケーション「一言コメント」

コミュニケーション活性化のために、従業員が1日の振り返りや気付きを発信する当社独自の取り組みです。社内連絡ツールLINEWORKSの掲示板機能を使用し、日替わりの担当者の投稿に対し部門の社員が返信コメントを書いています。以前の発信者は役職者に限定されていましたが、2023年からは全社員が投稿する仕組みへと進化しました。これにより社外での出来事や趣味など様々な情報が共有され、一人ひとりの個性が輝き、返信の数と質が向上しました。今後も更なるコミュニケーション活性化を目指し、邁進してまいります。





多種多様な働き方の実現！ 姫路オフィス誕生

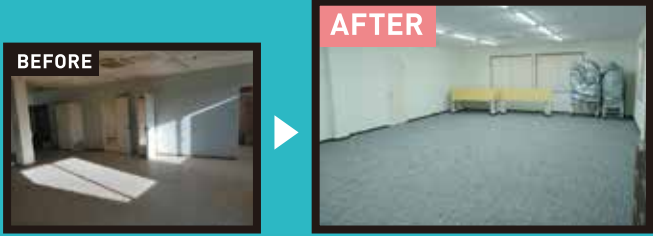
9月より、株式会社HIMEKANホールディングス本社事務所移転 兼 株式会社姫路環境開発 姫路オフィスとして、姫路駅付近の姫路大同生命ビルの活用が始まりました。
学生への会社説明会や、お客様の対応場所としても活用しています。



安らぎと集中の調和に向けた工事

本社リサイクルセンター2階事務所改装

以前は1階で全ての事務作業・応接・会議・休憩を行っていましたが、新たに2階に休憩室・応接室・会議室を設置したことで、来客対応時にも別室で休憩でき、従業員がより快適に過ごせる環境となりました。



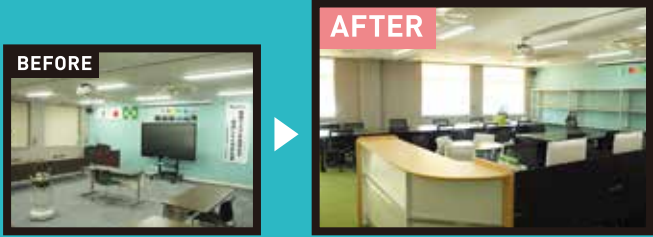
大会議室移転

従業員増加に伴い、本社事務所北倉庫を新たな大会議室として改修しました。以前より拡充された大会議室は、社員全員が参加するイベントに利用されました。



営業事務所本社移転

旧大会議室を改修し、営業事務所の一室として利用しています。これにより、コミュニケーションが増し、より活気あふれる本社事務所となりました。



従業員の癒やしの場 いこいの空間

カフェをイメージして設計された休憩室です。休憩時には海を見ながらくつろぐことができます。

感謝品

従業員の皆さまに日頃の感謝を込めて、クリスマスにはケーキ、仕事納めには年越しそば用に姫路名物「えきそば」、節分には恵方巻きをプレゼントしました。

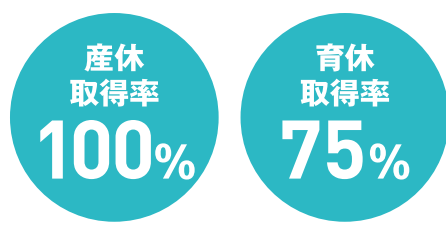


女性用制服新調

従業員の制服劣化の改善と多様性を尊重する現代のニーズに応え、女性用制服が新調されました。スカートに加えてパンツスタイルが採用され、ブラウスは白以外のカラーも選択可能となりました。制服の新調により、従業員のモチベーションと印象が向上し、より良いサービス提供に寄与しています。



ワークライフ バランスの推進！ 産休・育休制度



当社では、一人ひとりが重要な役割を担っており、全部門が揃ってこそ全体の円滑な運営につながっています。近年、女性や若手社員の増加に伴い、産休や育休制度の利用が増加しており、育休後に時短勤務を利用する社員もいます。今後も生活と仕事を両立しやすい環境づくりに努めます。

働きやすい 会社へ

いい会社に向けて お客様ヨシ！

部門の振り返り

総務部

37期テーマ

易い総務部を目指す

話し易い、相談し易い、分かり易い、質問し易い、働き易い、過ごし易い、訪問し易い等たくさんの易いを考える総務部にします。

レポート

活動内容	マニュアル作成及び見直し
結果・影響	属人化を防ぎ業務改善が行い易い。教育時間の短縮や新入社員が理解し易い。対応の統一化を図れました。

活動内容	2～3ヶ月1度、課員との面談
結果・影響	個々に仕事内容が違うため、普段では中々気付かない所が見えたことにより、より細かい改善に努められました。また、目指すビジョンやテーマの共有が出来ました。



メッセージ 執行役員 総務部 部長
瀧本 正晴

今期、『易い総務部』をテーマにし、課員一丸となって働き易き向上に取り組みました。先輩社員は若手社員に寄り添い、耳を傾け、役職者は課員の意見をもとに、働き易さを改善することで、結果として組織全体に良い影響を与えたと考えます。これは、一人ひとりが同じ目標に向かってテーマを意識し取り組んだ結果です。皆さま、ご協力ありがとうございます。今後は、これらの取り組みを継続的に評価し、より働き易い職場を目指します。

経理部

37期テーマ

まぶしい経理部

生き生きとした仕事を通じて、公明正大な職場環境を築き上げ、個々が責任を果たし、チーム全体が協力し合い、まぶしい笑顔があふれるような働き易い雰囲気を目指します。

レポート

活動内容	自身で考え行動できるように担当業務の目的や役割を説明
結果・影響	目的意識を持って業務に取り組むようになりました。また、責任感が強くなり、期日を守るようになりました。

活動内容	試算表の作成期日目標を部内で共有
結果・影響	個々が担当業務の締め切りを考え、業務改善や効率化に対する意見が活発に交わされるようになりました。

活動内容	インボイス制度の教育
結果・影響	インボイス制度の理解が深まり、他部署の質問にも自信を持って答えることが出来るようになったり、アドバイスもできるようになりました。



メッセージ 経理部 経理課 課長
山本 英樹

部署の抽象的な目標設定から、具体的な仕事への意欲や生き生きとした働き方について考察する機会となりました。皆が真面目に業務に取り組み、懸念されたインボイス制度も各自の自主学習と提案により円滑に対応することができました。来年は改正電帳法や新基幹システムへの対応が課題となりますが、引き続きチーム全体の一体感を大切にしながら、お互いを尊重する良い環境を築いていきたいと思います。

営業部

37期テーマ

まかせて安心 チャレンジ 営業部

当社のモットー「断らない」を基本に、お客様の信頼を得られるように迅速な対応、適切な提案を行います。



営業部 部長
谷岡 利康

メッセージ

今期は、処分・運搬費の値上げがあり、これに伴う御見積もりとフォローアップが求められました。リスクを考慮し、値上げに対する戦略的なアプローチが必要です。また、DXEに加入し、電子マニフェスト移行をチーム全体で推進し、電子化によりコスト削減に成功しました。JWNETに依存せず、独自に電子マニフェストを提供できることで、他社との差別化が可能です。今後はDXEの電子契約も積極的に取り組み、営業事務との連携を強化していきます。

レポート

活動内容

顧客からの廃棄物処理依頼、相談あれば断らず適切な処理先、処分方法を提案「断らないがモットー」

結果・影響

お客様の信頼、安心感(まかせて安心)につながりました。

活動内容

契約書、見積書等のスピーディーな対応

結果・影響

お客様の信頼、安心感(まかせて安心)につながりました。

活動内容

チャレンジ営業部(売上目標46億円)

結果・影響

個人売上目標を廃止しチームでの目標達成に取り組むことで、意識改革ができています。One for all All for one.

工事部

37期テーマ

まかせて安心 工事部

当社のモットー「断らない」を基本に、工事部は、当然ではありますが、責任を持ち完工させています。完工させる過程においてもクレーム等がないように管理監督を行っています。



工事部 部長
宮本 隆一

メッセージ

当社は「断らない」をモットーに掲げ、他部署との情報共有・協力、協力業者との綿密な打合せを通じて、37期を終えることができました。大きな事故や災害、クレームもなく、安定的な経営を実現してまいりました。今後はこの姿勢を堅持し、社内外との連携を強化すると共に、変化する環境に柔軟に対応していきます。ますます質の高いサービス提供を目指して努力してまいります。

レポート

活動内容

お客様への対応を丁寧!

結果・影響

好印象・安心感につながりました。

活動内容

他部署との情報共有・連携

結果・影響

案件がスムーズに進みました。

活動内容

準備・段取りを怠らない、協力業者との密な報告

結果・影響

慌てずミス・抜け・事故・怪我がなくなりました。

環境
事業部

37期テーマ

キレイな工場

産業廃棄物処理のイメージ「3K(きつい、汚い、危険)」を払拭したい。廃棄物を扱う会社だからこそキレイを保つ意識を工場全体で持ちたいと考えました。また、整理整頓清掃を行うことで、すぐに危険に気づき、改善・対応できる安全な作業環境をつくるために掲げました。



環境事業部
本社リサイクルセンター
センター長
清瀬 育也

メッセージ

当初は重機・施設の破損や汚れに気づかない、気にしない状態でした。清掃においても受動的思考から始まりましたが、続けるうちに清掃してから朝礼する流れが自然にできるようになりました。日々、重機・施設の破損や汚れなどの場内の変化にも課員が気づき対応する場面が増え、各工場の連携も以前より取れています。今後は各工場だけでなく、環境事業部として同じ意識を共有し、みんなでチャレンジをして「いい会社」をつくり上げます。

レポート

活動内容

責任者による各工場の安全パトロール

結果・影響

以前は乱雑に物が置かれていたが、施策を行うことで、少しずつ整理整頓されました。

活動内容

月1回の各工場合同安全会議

結果・影響

以前は3工場で分かれて会議を行っていましたが、施策を行うことで、各工場が同じ認識を持ち安全に対する意識を高めることができました。

活動内容

清掃チェックリスト作成、課員も交えた会議でのテーマ共有

結果・影響

以前は清潔できない部分が目立ったが、施策を行うことで、部屋がきれいな状態で保たれるようになりました。また、始業前、終業後に課員自ら清掃をするようになりました。

収運部

37期テーマ

魅せるセールスドライバー

譲る・止まる・見るという行動を確実にすることが重要です。ただのドライバーとして見られているだけでなく、主体的にドライバーの行動を見てくださるとアクションを起こすことが大切です。また、前向きな姿勢を貫き、どんな状況でも顔を上げ、笑顔を絶やさないように心がけています。



執行役員 収運部 部長
松岡 竜也

メッセージ

一年間、労働災害が発生しなかった事に感謝しています。しかし、一つ間違えば労働災害につながる物損事故が数件ありました。収運部全体では、意識が向上し、改善してきたように思いますが、破損事故は同じ原因から繰り返されています。また、nautoにより数値化された安全運転点数にも差が表れています。今後は、特別な教育を導入し、全体の意識向上に取り組み、「魅せるセールスドライバー」を確立する事で、常に安心・安全な収運部を目指していきます。

レポート

活動内容

nautoを用いた運転癖の指導

結果・影響

わき見運転や車間距離など全体に意識付けができた事で、全体の評価の向上が実現しました。

活動内容

全員に事故動画を見せて「なぜ」事故が発生したのか自分ならどうしたのかなどの話し合い(事故検証)

結果・影響

自分が発言する事でもう一度注意する意識をもたせる事が出来ます。当事者も色々な意見を聞く事により、新たに注意する所が見えました。

活動内容

洗車・車内清掃・現場のゴミ拾い

結果・影響

現場作業中のクレームがなくなりました。一般道路運行中からのクレームも減少傾向にあります。

※nauto：運転手の目線や位置情報の計測などの機能を持つドライブレコーダー

環境学習

いい会社に向けて 地域ヨシ!



復活!

地域の中高生と海のごみ調査隊

賢明女子学院様との共同企画として2020年に始動し、播磨灘の海洋ごみの実態調査を行っています。今年は新たに淳心学院様にもご参加いただき、活動の輪を拡大しました。調査ではペットボトル、カン、年季の入った鉄製の湯たんぽ容器などが確認されました。来年は3ヶ月ごとに定期的な調査を実施し、これまで以上に力を入れていく所存です。

地域の子供たちとおいも掘り

地域交流の一環として、当社所有の畑「ひめかんエコファーム」にておいも掘りを行いました。毎年5月ごろに苗を植え、水やりや草抜きを社員で分担して育てています。10月のイベントでは飾磨保育所様と飾磨西保育所様をお招きし、合計81名が参加しました。自分の顔が隠れるほどの大きなおいもに子供たちも大喜びでした。

進化!

緑化事業

姫路城に華を添える花の寄せ植え

環境に配慮した社会づくりを目的とした緑化事業の一環として、毎年春と秋に姫路城の花の植え替えを行っています。この活動は、2016年の全国産業廃棄物連合会青年部協議会の近畿ブロックから始まり、翌年の2017年から当社が引き継いでいます。今までのイベント参加者は社員に限定していましたが、今年は近隣の賢明女子学院の皆さまにもご参列いただき、活動の輪を広げました。また、イベント後は参加者へお花をプレゼントすることで、イベント後も緑化への関心が高まるための仕組みづくりをしました。この新しい取り組みにより、日常生活における環境への配慮が促進されることが期待されます。



明石公園 GOMI拾い合戦

毎年11月に実施される公園清掃ボランティア「GOMI拾い合戦」に参加し、明石公園の美化・清掃活動を行いました。イベントを通じて公園の美化はもちろん、木の根元や陰に隠れたゴミに注意を払うことで、視野を広く保つ重要性も学びました。収集したゴミは、一つ一つ確認しながら適切に分別しました。



地域美化

広域清掃

地域の環境美化への取り組みとして、毎月第1月曜日に本社周辺の清掃を行っております。活動は2005年から始まり、今年の12月で190回目を迎えました。少しでもきれいで美しいまちづくりに向けて、今後も継続してまいります。

総回収量
約40m³



イベント

第28回 花とレンガの エコフェスタ



当社のエコレンガプラントにて環境にやさしいレンガやお花の即売を行いました。エコレンガ事業撤退に伴い今年の春が最後の開催となりましたが、約1,500名のお客様が来場されました。エコフェスタは、イベントの企画・運営、商品の製造・販売の全てを社員が担っており、積み込みの手伝いや笑顔での接客等、心あたかい対応を大切にしています。会場では、ボトルキャップ回収やフードバンク様によるフードドライブ活動も行われ、SDGs達成に寄与する要素が数多く組み込まれたイベントとなりました。

ご来場ありがとうございました

このイベントは年2回の開催でしたが回を増すたびにお客が増え、協賛いただける企業様や商材も増えていきました。地元のお客様だけでなく、遠方からもこのイベントを楽しみにご来場いただくお客様がいらっしゃいました。特にお子様連れのお客が多く、金魚すくいや綿あめで遊ぶ子供たちの声に元気をもらっていました。設営やスタッフとして他部署の連携がみられたのもこのイベントの魅力だったと思います。17年間、28回に渡りお客様にお越しいただけたことに感謝いたします。ありがとうございました。



エコフェスタ 統括プロデューサー
営業部 営業課 課長

和地 友紀



寄付活動

寄付活動の 継続・フードドライブ

従業員が各家庭で未使用の食品・日用品を持ち寄り、播磨地域を拠点として経済的に困難な状況にある方に支援活動をしているNPO法人フードバンクはりま様に活動支援を行っています。姫路環境開発は2019年より活動支援をしており、2023年は毎月フードドライブ活動を実施し、12月回収分で43回目を迎えました。従業員からの寄付に加えて、会社の社食で購入されたカップラーメンや缶詰のうち一定期間商品棚に並んだ食品の寄付も新たに始まりました。2024年は支援だけでなく、活動の知名度向上にも注力します。

進化!

2023年
収集実績
103kg
(前年比約57%)

ペットボトル キャップ回収

団体・企業様からペットボトルキャップを回収し、リサイクル業者への売却により得られた売却益をワクチン購入の資金として「認定NPO法人JCV世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付しております。ペットボトルキャップ1200個で1人分のポリオワクチンが購入できます。当社は姫路市内の団体・企業様からのご依頼に応じ、無償で回収に伺っておりますので、ぜひ活動にご参加ください。

2023年
回収・寄付
実績
830万個

地域のコミュニティ食堂へ さつまいもを寄付

地域貢献の一環として、昨年に引き続き、あこう子ども食堂様(赤穂市)、コミュニティ食堂きらら様(姫路市)へ、ひめかんエコファームで収穫したさつまいもをお届けしました。寄付した食材はおいもご飯となり、70名以上の方々へ提供されました。こちらの食堂は、児童扶養手当受給世帯、コロナ禍の影響で生活が著しく困窮している世帯対象に、充実した食事をしてもらう事を目指して運営されています。当社は支援を通じて、地域の活力と健康的な未来を創るサステナブルな社会に貢献していきます。もし余っている食材がございましたら、お近くの子ども食堂やコミュニティ食堂にお届けいただければ幸いです。

社員の 意識向上

家庭リサイクル

まず自分たちでできることから取り組もうという考えで、従業員の家庭から出たリサイクル可能なごみ(ペットボトル、アルミ・スチール缶)を専用ボックスで回収しています。回収した資源の売却益は社会貢献活動や社内イベントに活用しています。

2023年
収集実績
7,651本
ペットボトル

2023年
収集実績
10,468本
アルミ・スチール缶

ごみの分別

各事務所・工場に分別用ごみ箱を設置し、可燃ごみ、プラスチック資源、ペットボトル、金属などに分別しています。分別したごみは、家庭リサイクルで集まったものとともに再資源化しています。

新!

グリーン購入

当社は備品の購入において、環境に配慮した製品を積極的に選択しています。これまではリサイクルしにくい加工のない備品を導入してきましたが、今年からは新たに、売上金額の1%がユニセフ基金に寄付される備品も取り入れています。今後も環境への影響を最小限に抑えつつ、製品の購入を通じて地球環境の保護に積極的に貢献してまいります。

1 安全と安心の追求

災害対応と事業継続

姫路環境開発は、地域社会の基盤となる静脈産業の担い手として、限られた地域資源を活用するための災害リスク低減に取り組んでいます。まず、事務所周辺の液状化被害による機能喪失時の代替として、姫路駅から270m、姫路市役所から1.2kmの市街地に本部指揮機能を移設可能な拠点を確保しました。BCPや危機管理の観点から、行政・業界団体との連携や情報共有拠点の代替としての運用も想定しております。今後、危機管理と事業継続の「整理」、事業範囲と規模の「拡大」を見据えて、結果事象で考えたBCPを確立していきます。



図1.姫路環境開発が果たすべき役割

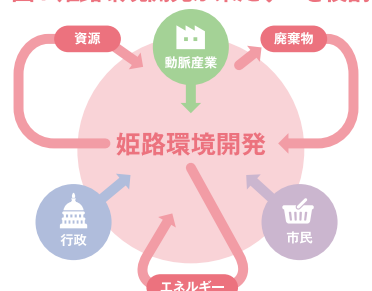


図2.オールハザードBCPの確立



企業活動にあてはめると、結果から考えることで事業との関連を抜け漏れなく把握できるはず。

図3.緊急事態対応を企業活動でイメージ

1 BCP基本計画 固定資産	長期・継続的な事業安全性確保のための全体計画 ▶課題 定量的・定性的評価に基づく適切な判断基準の設定
2 緊急時対応計画 流動資産	作業単位での対処と緊急時の現場対応を明文化 ▶課題 急激な情勢の変化
3 危機管理計画 流動負債	会社や事業の短期的な安全性や被害状況を分析する指標 ▶課題 危機の定義
4 事業復旧計画 固定負債	継続安全性の判断や損害復旧計画 ▶課題 資源の確保と不足時の想定

姫路環境開発は、これからも継続した活動と管理体制を整備して取り組んでいきます。

2023年 活動実績

- 2023年1月14日 総合防災訓練・事業継続机上訓練
- 2023年1月25日 大雪・風雪・凍結災害対応
- 2023年7月29日 総合防災訓練・事業継続机上訓練
- 2023年10月31日 事業継続机上訓練
- 2023年11月30日 レジリエンス認証更新
- 毎月、月例会議を実施 計9回実施
- 組織体制の見直し BCP更新月の7月に実施 2023年7月20日付けで見直し完了
- BCPマニュアルの更新と開示 計14回実施



2024年 活動目標

- 総合防災訓練の実施 ▶年二回の実施
- 連携事業継続対応訓練の実施
- 連携事業継続協定の締結
- 組織体制の見直し ▶年一回の実施
- BCPマニュアルの更新と開示 ▶年一回の実施
- 危機管理や経営企画などと連携した計画策定と事業推進体制の構築



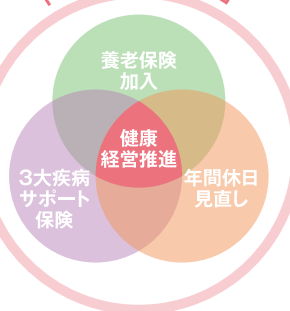
安心

健康経営推進



当社は従業員の健康と働きやすさを重視し、積極的に健康経営を進めています。6月には、退職金制度の充実を目的として、養老保険へ加入しました。これにより、退職後の生活や医療、介護に備え、従業員が安心して老後を迎えられるようにサポートされます。昨年の3大疾病サポート保険の加入や年間休日の見直しに続き、養老保険へ加入したことにより、健康経営優良法人認定を取得しました。今後も社員が健康で働きがいを感じられる環境づくりに取り組んでまいります。

「いい会社」



危機対応別のリスク管理

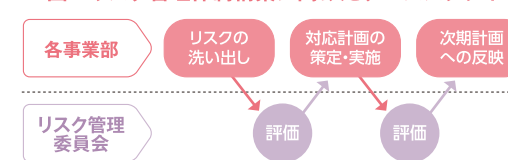
様々な危機への対応管理体制を構築するため、リスク管理委員会を立ち上げました。

2023年をひめかんリスク管理元年と位置づけて、自分たちで考え実行することを目指しました。対象を洗い出して、対応策を検討し、関係者へのイメージ共有を目標としました。

図1.リスク管理委員会の位置づけ



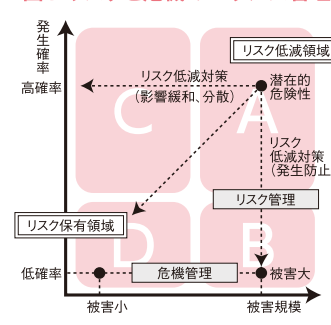
図2.リスク管理体制構築に向けたケーススタディ



今回は、リスク管理戦略の4つから、③を優先しました。

- リスク回避戦略
- 結果の低減（軽減・移転・分散・分離など）戦略
- 起こりやすさの低減（予防・防止・補完・予備など）戦略
- 保有・容認・享受戦略

図3.リスクと危機のバランス管理



2023年 活動実績

- ▶定例会議の実施：4月以降月一回、計八回実施
 - ▶ナウトによる評価制度の導入：3月の社員総会にて年間表彰
 - ▶製品、廃棄物の堆積リスクの把握と対応策の検証：年一回の実施
 - ▶リスク基本計画の作成と定例会議での実施状況の経過確認
- 2023年リスク対応実績 図3などから、被害規模、発生確率、業務影響を考慮して選定。
- 個人情報などの機密情報の漏洩リスク＝B
 - 廃棄物や製品の堆積による崩落・流出リスク＝A
 - コンプライアンス違反＝B
 - 危険運転による事故・トラブル発生＝A
 - 過積載による事故・トラブル発生＝B

2024年 活動目標

- ▶2023年のデータとの比較検証、継続対応
- ▶目に見えるリスクだけでなく、未来の課題に対する危機管理の実施
- ▶人材確保・育成、循環経済への移行、BCP、リサイクル率向上、GHG排出量の観測と低減、など
- ▶経営戦略、経営計画として、BCPや事業展開との連携対応

インボイス適正発行

10月から導入され、取引に対しインボイスを適正に発行しております。



お客様が、よりお持ち込みしやすい窓口へ

本社受付改修工事

入場者と退場者の受付窓口を分けることでよりスムーズな対応を実現しました。また、部屋を広くすることで、従業員の働きやすい環境づくりに取り組みました。



安全

安全第一些事を怠るな

「安全第一些事を怠るな」を目標に掲げ、日々、安全衛生活動に取り組んでいます。2023年も無事、無災害を達成することができました。これで無災害継続時間は、累計80万時間となりましたが、これからも無災害を継続できるよう全力で安全衛生活動に取り組みます。

無災害継続時間
累計80万時間達成!

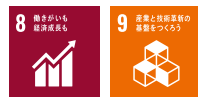
株式会社姫路環境開発 安全衛生方針

安全衛生活動は、企業経営の基盤であり、我が社で働く人及び地域社会の安全・健康に及ぼす影響を最小限となるよう企業活動の中で安全衛生管理を徹底し、自負できる職場を目指します。

- 安全衛生関係法令及び社内基準を遵守し、より一層の安全衛生管理に努めます。
- 職場の危険有害要因の明確化と対策の優先度を定めるリスクアセスメントを実施し、「災害ゼロ」の安全で快適な職場づくりを推進します。
- 過重労働及びメンタルヘルスによる健康障害を防止するため、衛生管理体制の充実を図り、社員の健康確保対策を推進します。
- 全社員とのコミュニケーションを図り、全員参加の安全衛生活動を実行していきます。
- 社員教育を通じて、安全衛生意識の高揚に努めます。
- 安全衛生活動の実行に当たっては、適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施します。

平成29年4月1日 代表取締役 梅崎晃平

2 みんなで チャレンジ



DX推進秘話 ～開発者と実務者みんなで完成させるために～

DX推進の一環として、弊社はKintoneを軸とした基幹システムの刷新プロジェクトを推進しております。Kintoneとは、ビジネスニーズに応じたカスタマイズができるプラットフォームです。必要な機能やワークフローを柔軟に追加・変更できるため、他サービスと連携し業務効率化、生産性向上を図り、より品質の高いサービスをお客様に提供できるように現在開発中です。今回、そのプロジェクト中心メンバーの社内開発者2名と実務者1名にお話を伺いました。



Nさんは入社3年目の若さでDXチームの中心を担われていますが、今年特に力を入れた取り組みはありますか？



実務者へのヒアリングです。昨年は開発者と実務者の目線が上手く噛み合っていなかったため、今年は実務者へのヒアリングを徹底的に実施しました。



DXチームでのヒアリングの他にも、気づいたことは都度開発担当の2人へ伝えるようにしていました。完成するシステムは皆で使用するものなので、経理・他部署のメンバーにも相談しながら、私一人の考えに偏らない様に気を付けましたね。



DXは開発者やヒアリングされた方だけでなく、実務者全員が協力する姿勢があるから進んでいるのですね。では、開発する中で難しかったことはありますか？



担当者しか知らないルールがあったことが難しかったです。ヒアリングはもちろん、1つ1つ過去のデータを照らし合わせながら進めました。DX推進を通してお客様がより「ひめかん」を利用しやすく、効率的に処理できる仕組みができるのを楽しみに取り組んでいます。



少しずつでも進化しているところに「ひめかん」らしさがありますね。最後に、今後の展望と意気込みを教えてください。



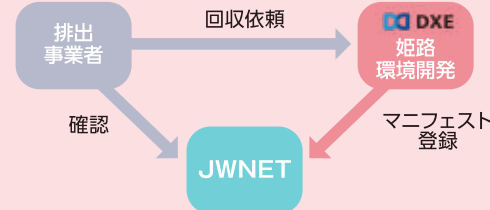
新しいシステムで現状の仕事ができることは大前提です。持続可能な成長に向けた情熱を持ち、お客様や社員の方が喜ぶより良い会社独自のシステム開発に取り組めます。

代行起票でらくらく登録！ DXE導入

今年5月より導入したDXEとは、電子マニフェスト(JWNET)と連携することで、産業廃棄物の排出から処理まで、一連の業務プロセスをデジタル管理するシステムです。業界の最先端を目指す企業として、デジタル化が難しい産業廃棄物業界においても取り組みを進めています。電子マニフェストご利用者の過半数のお客様にご加入いただいております。今後も廃棄物の適切な管理と効率化により、安心してお取引していただける企業を目指します。

DXEを利用したマニフェスト起票の仕組み

登録した受注データを元に収集運搬業者がマニフェストを起票するため、排出事業者様はJWNETを意識せずに電子化を進められます。



《電子マニフェストの導入メリット》

- 作業の効率化** マニフェストが電子上で保存されているため、長期保管やファイリングの手間がなくなります。
- 行政報告が不要** 電子マニフェスト利用分は自動で行政報告されます。
- 法令の遵守** マニフェストの必須項目をシステムで管理しているため、入力漏れや紛失の心配がありません。

DX基盤を育てる

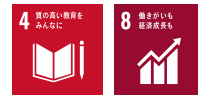
現在、4月からのDX基盤活用開始に向けて準備を進めております。DX基盤の活用により、業務の効率化だけでなく、顧客満足度の向上、新たな顧客体験の提供、蓄積データからの様々な分析など、従来出来なかった事が可能になります。今後も順次活用範囲を拡大していく予定です。DX基盤はみなさんと共に成長・挑戦していく基盤です。ぜひ、気づき、アイデアなどを共有し、楽しみながら一緒にDX基盤を育てていきましょう。



DX推進メンバー
TakTools代表 中小企業診断士
北嶋 崇 氏

3 魅力発信

インター シップ



リクルート動画リニューアル

若手からベテランまで幅広い社員が登場しています。8分の動画で各部署の魅力を充実させるべく、社員インタビューが拡充されました。説明会や1day仕事体験などで活用されています。



1 day仕事体験

夏季と冬季に分けて計11回実施しました。入社1～2年目の社員が企画し、解体現場見学や工場見学を行いました。特に社長座談会は学生から好評を得ており、当社の魅力の一つである「社長との近い距離感」を体験していただいています。今後も採用チームが架け橋となり学生へ会社の魅力を伝えつつ、学生一人ひとりが将来のキャリアを検討できるよう、誠心誠意努めます。



リーダーセミナー

8月29日・30日の2日間、志ネットワーク「青年塾」リーダーセミナーin播州講座が開催されました。リーダーセミナーとは、上甲塾長を中心に様々な組織のリーダーが集まり、リーダーに相応しい見識と視野、リーダーとしての「志」、そして人間性を養うため、現地現場へ足を運び実践的に学ぶ研修のことです。今回は株式会社ソネック様と合同開催させていただき、当社は車両・設備の見学会や、魅力ある取り組みを発表しました。事務方の従業員だけでなく、現場の従業員が運営することで、生の声をお届けする機会となりました。

勉強会



ユニック・コンテナ・ツカミ実演

収運部3名により、バクタン内の廃棄物をツカミ車を用いてコンテナへ移し替え、最後はコンテナをアームロール車で引き上げる連携プレーを実演しました。



破砕処理実演

本社リサイクルセンターにて、破砕機を用いた廃プラスチックの破砕実演を行いました。



会社の魅力紹介

新入社員による会社紹介から始まり、青年塾生3名が人・地域貢献の魅力・安全意識について紹介しました。最後は梅崎社長が全体のプレゼンを行い、ひめかんの魅力をアピールすることができました。

排出事業者様の工場見学

10月、建設系産業廃棄物の排出事業者であるSHOWA GROUP様が、本社リサイクルセンターを訪れ、工場見学が行われました。見学では、当社へ持ち込まれた廃棄物の処理方法やリサイクルの流れをご説明し、その後に排出事業者と中間処理業者の双方の立場から、より環境にやさしい取り組みに向けたアイデアの共有と意見交換が行われました。お互いの仕事に対する理解が深まり、思いやりのある有益な時間となりました。

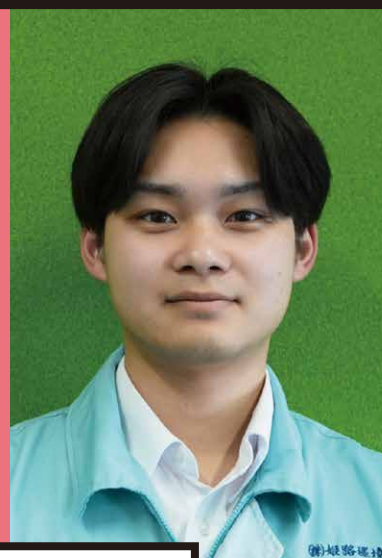


社員紹介



1年目から輝く真摯な姿勢

当社の働きやすさの1つ目は、「職場の雰囲気が良い」ことです。社内では、部署を問わず日々様々な人とコミュニケーションをとっており、従業員全員が一体感を持っています。そのため、何か困ったことがあれば気軽に相談でき、職場は明るく協力的な雰囲気が広がっています。2つ目は、「個性を尊重し伸ばしてくれる」ことです。否定からではなく、積極的に個々のアイデアを受け入れ、社員一人ひとりのスキル向上をサポートしています。考えを押し付けられるのではなく、各自が自らのアイデンティティを取り入れられる環境が整っています。また、人材育成研修やマナー研修などが提供され、個々の成長機会が豊富に提供されています。3つ目は、「時代の変化に対応している」ことです。会社全体が「DX推進」を進め、仕事のシステムを見直したり、新しいリサイクル工場を設立したりと、短期間での変化に対応しています。会社は常に向上心を持ち、日々精進しています。



営業部 営業課

吉野 真央



工事部 工事課 課長

振角 晋輔

アスベストのスペシャリスト

当社の解体工事は『まかせて安心』を目標に、工事から廃棄物の運搬・処分まで一括管理でお客様よりご評価いただいております。解体工事は専門性を要する作業ですが、技術と知識を学ぶことでキャリアを築くチャンスがあります。我々は学生の皆さんの成長を全面的にサポートします。現場での実践的な経験を通じて、専門性を磨きましょう！

車輝く、作業のプロ

入社初期は様々な現場での作業勉強が楽しく、難しい場面では先輩方のアドバイスが頼りになりました。仲間との助け合いがありつつも、日頃からのコミュニケーションが相談しやすさを生み出しています。作業は考える事が多く大変ですが、先輩たちと協力して成長していきたいと思っています。また新しい仲間が加わることも楽しみにしています。



収運部 物流管理課

小野 祝

若手努力家の成長者

一緒に働く方々は、段階を踏んで一人ひとりのレベルに合った作業を丁寧に教えてくださいます。休憩やプライベートも優しく楽しい雰囲気です。仕事中には気にかけてくれる方が多く、様子が少し違っただけで「大丈夫か」や「調子どないや?」と気にかけてくださいます。仕事中和のメリハリがあり、とても尊敬できる方ばかりです！

環境事業部
本社リサイクルセンター

中本 楓真

映画



HIMEKAN HEROES

誇り高きドライバーたち

制作秘話



昨年に続き、極秘プロジェクトとして「HIMEKAN HEROES2」を制作しました。第一弾はコロナ禍のコミュニケーション不足により低下した社員のモチベーション向上を目指して制作されました。物語は工場を中心に据え、廃棄物処理を通じて地球環境への貢献を強調し、社員に誇りを与えています。完成した映画は社員総会で公開され、社員は真剣な眼差しや朗らかな表情を見せました。第2弾の主演は収運部です。当社は今や街を走れば広く認識されています。つまり、道路や作業場において、ドライバーの振る舞いは当社の「顔」となっています。第2弾の物語は、「見られる(監視される)ドライバー」から「誇り高きドライバーたち」への意識転換を願い、制作されました。物語では、作業時の安全意識やお客様の現場を美しく保つための心遣いが紹介されています。



見どころは、ドライバー経験のある社長の梅崎が若手社員に対し、創業当初から受け継がれる思いを語り掛ける場面です。ご興味がありましたら、ぜひ来社時にご覧ください。

自分たちの仕事の魅力を発見する

ひめかんで「働く意味」とはなんだろう？それは社員一人ひとりの働くことに対する考え方や捉え方は異なりますが、自分たちの行いがきっと社会に役立っているという想いは一つでした。その想いを映像化したのが「HIMEKAN HEROES」です。まずいい会社創りには自分たちの魅力や存在意義を知ることが欠かせないと思います。その皮切りとなった映像作品です。これからも進化するひめかんを撮り続けます。

株式会社LAVORO
代表取締役

神谷 昌志 氏

ひめかんCM14年間放映中

当社は2009年よりサンテレビにて独自のCM広告を14年間にわたり放映しております。また、2013年よりアースシネマズ姫路にて映画上映前に流れるシネアド広告としても採用されており、2023年で10年目を迎えました。ヘルメットを被ったかわいい人形が動く会社CMとして、長年にわたり地域の皆様に認知されています。

